

大牟田市立三池小学校

1 本校のESDの特徴

当校は、「郷土を愛し、知・徳・体の調和のとれた豊かな心と健やかな体を持ち、たくましく生きぬく子どもを育成する。」を学校理念として、ESDを地域と「関わり」「つながる」教育と捉え、ESDの実践を通して自分の考えを伝え、相手を説得できる（認め合う）力の育成を目標とした。

具体的には、体験活動の重視、表現活動の工夫、振り返り活動の重視を柱に、①郷土に係わる活動、②環境に係わる教育、③食育に係わる学習、④福祉に係わる学習を行った。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

＜各学年の「地域体験学習」の活動内容＞

3年

三池に残る民話や伝説について現地で話を聞き、紙芝居に等にまとめ、「ふるさと三池のよさ」を学習発表会で保護者や地域の方に広める。

（見学地） 劫月院…夜泣き地蔵、金井寺…「桜姫」伝説、明正寺…六地蔵 など

4年

大牟田カルタを使った遊びを通して三池校区にある史跡に興味を持つ。その中から実際に見学し説明を聞いたり、調べたりしてまとめ、自分たちの三池カルタを作って遊んだり、発表したりする。

（見学地） 弥劔神社、三池典太屋敷跡、妙見神社、三池街道 など

5年

大蛇山の起源について話を聞き、実際に見学することで、大蛇山の歴史を正しく理解する。分かったことをまとめ発信することで、古くから受けつがれてきたことをこれからも守っていこうとする。

（見学地） 三池新町弥劔神社

6年

三池藩や三池地区の歴史を学び、今も残る昔の人々の生活の跡を見学することで「ふるさと三池」を再発見し、調べたことを新聞やリーフレットにまとめて、学んだことを保護者や地域の方に広める。

（見学地） 三池藩・柳川藩境、堀割跡 など

3 特徴的な活動事例

『地域体験学習～三池校区の史跡から学ぼう～』

＜4年生 総合的な学習の時間 単元名「一枚のカルタから 不思議発見」＞

(1) 目標

○三池校区にある史跡についてG Tの方から話を聞いたり、実際に見学したりする活動を通して、「ふるさと三池」のよさを発見し、地域を愛する心情を育てる。

(2) 実践の展開

①大牟田カルタを使って遊び、三池にある史跡について興味を持つ。

②三池に残る史跡で興味を持った場所や物を選び、実際に見学する。

〈三池の歴史を学ぶ会の方によるボランティアガイド〉

11 住み続けられる
まちづくりを



③見学したことをもとに、さらに調べて壁新聞にまとめる。

④調べたことをもとに、三池カルタを作成する。

⑤作成したカルタで遊んだり、保護者や地域の方へ調べた「三池のよさ」や作成したカルタを紹介したりする。



【大牟田カルタから三池の史跡を知る】



【実際に見学し、GTの方の説明を聞く】

(3) 子どもたちの様子 (子どもの感想)

- ・三池の歴史を学ぶ会の人に三池の史跡を案内してもらってその場所の歴史やそこで行われる行事について知ることができました。見学した場所についてのカルタを自分たちで作りみんなで遊ぶことで、さらに三池のことを楽しく知ることができました。これからも三池の歴史や伝統行事について知って、そのよさをみんなに伝えていきたいです。
- ・三池に住んでいるけれど、日頃は気付かなかった三池のよいところを知ることができてよかったです。このままずっと残していきたいと思います。



【三池地区公民館でESD展】

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・これまで、三池校区にたくさんの歴史遺産があることに気付かずにいたが、この学習を通して三池の地域の歴史や、先人たちが代々受けついできたことを知り、これからも地域の史跡を大切にしていきたいという気持ちを持たせることができた。
- ・三池地区公民館の協力で三池小のESD展を開催できた。子どもたちは地域で学び、学んだ成果を地域の人に見てもらおうというように、地域との繋がりを強くすることができた。

○課題

- ・教師も校区内の歴史的遺産について知り、子どもに何を学ばせるかテーマを絞って、GTの方と綿密な打合せをする必要がある。
- ・調べ学習をすすめる上で、子どもに合った資料をそろえる必要がある。